

東京都知事選の真相・後編レジュメ

どうも、かりいです。

今回は、前回に引き続き、
「京都知事選の真相・後編」の内容をまとめたレジュメを作ってみました。

動画のインタビュー部分を聞く際は、
こちらのレジュメを見ながらだと理解が一層深まると思います。

ちなみに、
前編のレジュメはこちら

[→東京都知事選の真相・前編](#)

では、以下からが後編のレジュメとなります。

◆日本のメディアとアメリカのメディアの違い

アメリカのメディア：事実をそのまま伝える

日本のメディア：勝手な意見を反映させている

→大政党にバックアップされている人を大きく見出しにする等

[⇒人格の良し悪しを重要としていない](#)

◆投票率の悪さについて

今回の東京都知事選、
前日に雪が降ったことにより、
投票率が50%以下になってしまった。

しかも、それで通った。

10人に1人も投票していないのに、
その選挙が通ってしまった。

→選挙システムの改善が必要

もっと選挙をフェアに！

せっかくテクノロジーが発達してるのだから、
インターネット投票などを取り入れていった方が良いのでは？

◆海外から見た日本

外国から見れば、東京の信用は下がっている。

→信用を上げることが最優先！

だけど・・・誰もその事について発言していない。

その結果、

国際的に信用されていない人が当選。

→東京の信用はさらに下がることに

→国際的に信用のある人が選ばれるべき

◆ドクター中松が掲げる施策

- ・東京の信用を上げる
- ・4月からの増税に見合う減税
- ・首都直下型地震に対応
→中松氏は、実際に自分で建築の設計などを行っているプロ
- ・東京オリンピックに対応
→中松氏は、「世界天才会議」の議長を27年間やっている